

矢崎科学技術振興記念財団 研究助成金を15人に授与

自動車用ワイヤハーネス世界大手メーカーの矢崎総業が設立した同財団の研究助成金は功績賞が東京大学工学系研究科の長汐晃輔教授に、若手研究者を対象とした奨励賞が産業技術総合研究所の鈴木大地主任研究員と大阪大学大学院の星本陽一准教授に贈られた。

同財団の研究助成金は「材料・デバイス」「環境・バイオサイエンス」「エネルギー・情報通信」の分野を対象領域に一般研究助成と奨励研究助成、特定研究助成の三つからなる助成制度。「国際交流援助」には10人が選ばれた。

983年以

来、科学技術の発展を目的に研究を助成。今年度も独創的で成果が科学技術の発展に大きく貢献すると考えられる研究を対象に選考し

一般研究助成には60件の応募があり、奈良先端科学技術大学院大学の遠藤求教授の「植物の光周性原理の解明とデンブン質バイオマス生産への応用」など5件が選ばれた。奨励研究助成には36件の応募があり、横浜国立大学大学院の孫鶴鳴准教授の「アルゴリズムとアーキテクチャの協調最適化による学習型画像圧縮システム」など10件が選定された。特定研究助成については今回は該当がなかった。

また過去に研究助成を受けた中から優れた業績を挙げた研究者が受ける「矢崎学術賞」